



日本生命



保護者の利用している企業主導型保育 施設への評価の実態

発達保育実践政策学センター
佐々木織恵

本報告の問い

- 保護者は現在利用している企業主導型保育施設をどう評価しているか
- 保護者が満足している施設では、どのような取り組みを行っているか

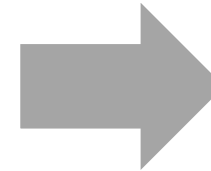


保護者は現在利用している企業主導型保育施設をどう評価しているか



Q. 現在、お子さんが通っている保育施設について、もっとも近いものを1つずつ選んでください。

1. 施設が新しい
2. 施設の清掃が行き届いており衛生的である
3. 保育理念や方針に共感した
4. 遊びに力を入れている（遊具等の充実も含む）
5. 教育に力を入れている
6. 自分の働き方にあった時間帯での利用ができる
7. 食育に力を入れている
8. 病気になった時の対応やアレルギー対応、慢性疾患への対応、病児保育等が充実している
9. サービスが充実していて保護者の負担が少ない（布団・日用品等を施設で用意する等）
10. 自宅から通いやすい
11. 勤務先等からすぐに駆け付けられる
12. 確実に入所できそう
13. 保育場以外の追加費用負担が少ない



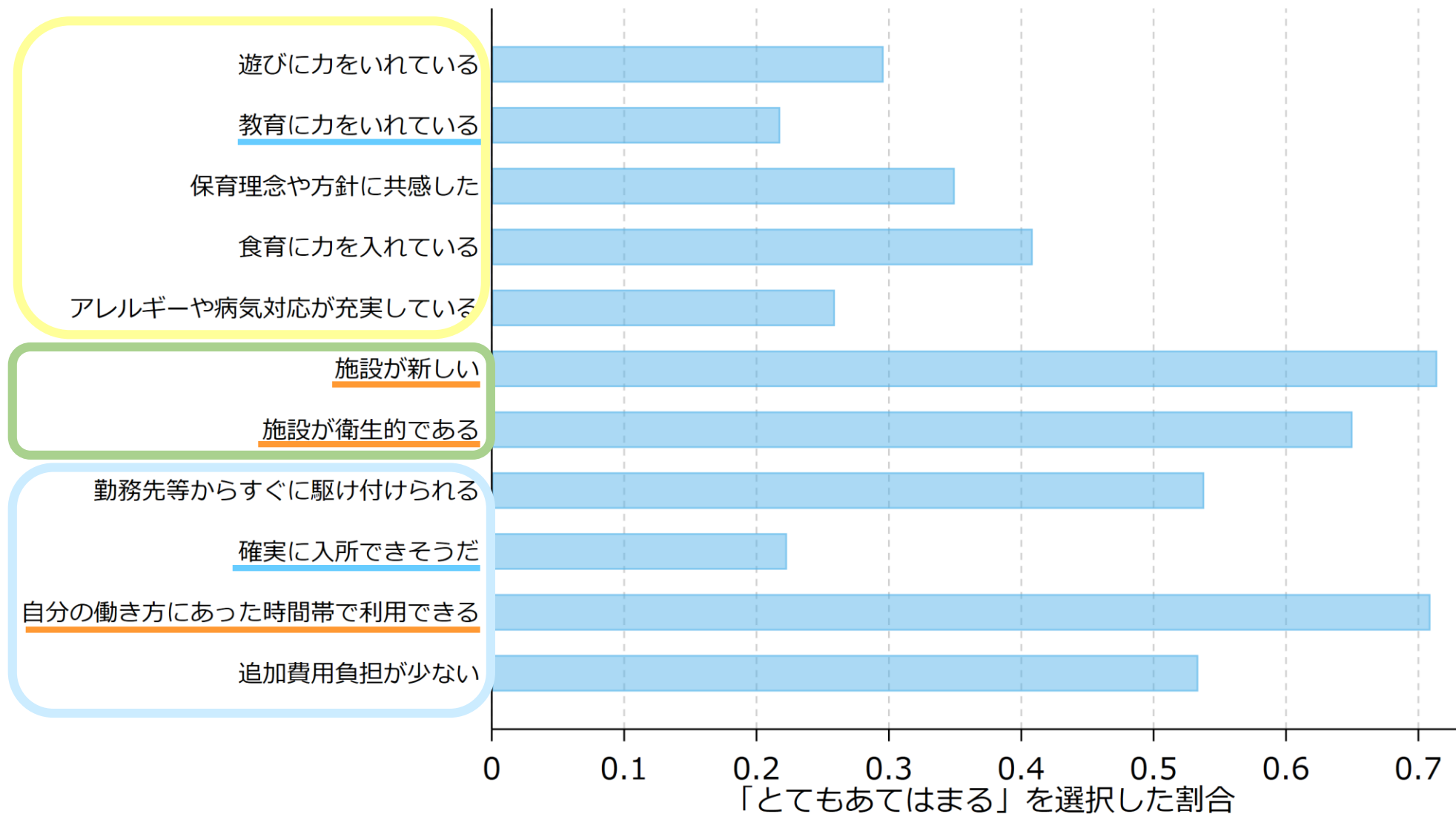
1. ほとんどあてはまらない
2. あまりあてはまらない
3. どちらともいえない
4. ややあてはまる
5. とてもあてはまる

	因子1 保育内容	因子2 施設の綺麗さ	因子3 利便性
教育に力を入れている	0.833	-0.188	-0.106
遊びに力を入れている	0.736	0.007	-0.055
保育理念や方針に共感した	0.642	0.082	0.013
食育に力を入れている	0.519	0.110	0.035
アレルギーや病気対応が充実している	0.312	0.079	0.158
施設が衛生的である	0.090	0.736	-0.082
施設が新しい	-0.093	0.690	-0.051
勤務先等からすぐに駆け付けられる	-0.033	-0.102	0.509
自分の働き方にあった時間帯で利用できる	0.122	-0.009	0.464
追加費用負担が少ない	-0.058	0.128	0.368
確実に入所できそうだ	-0.124	-0.078	0.324

因子抽出法: 最尤法、回転法: Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

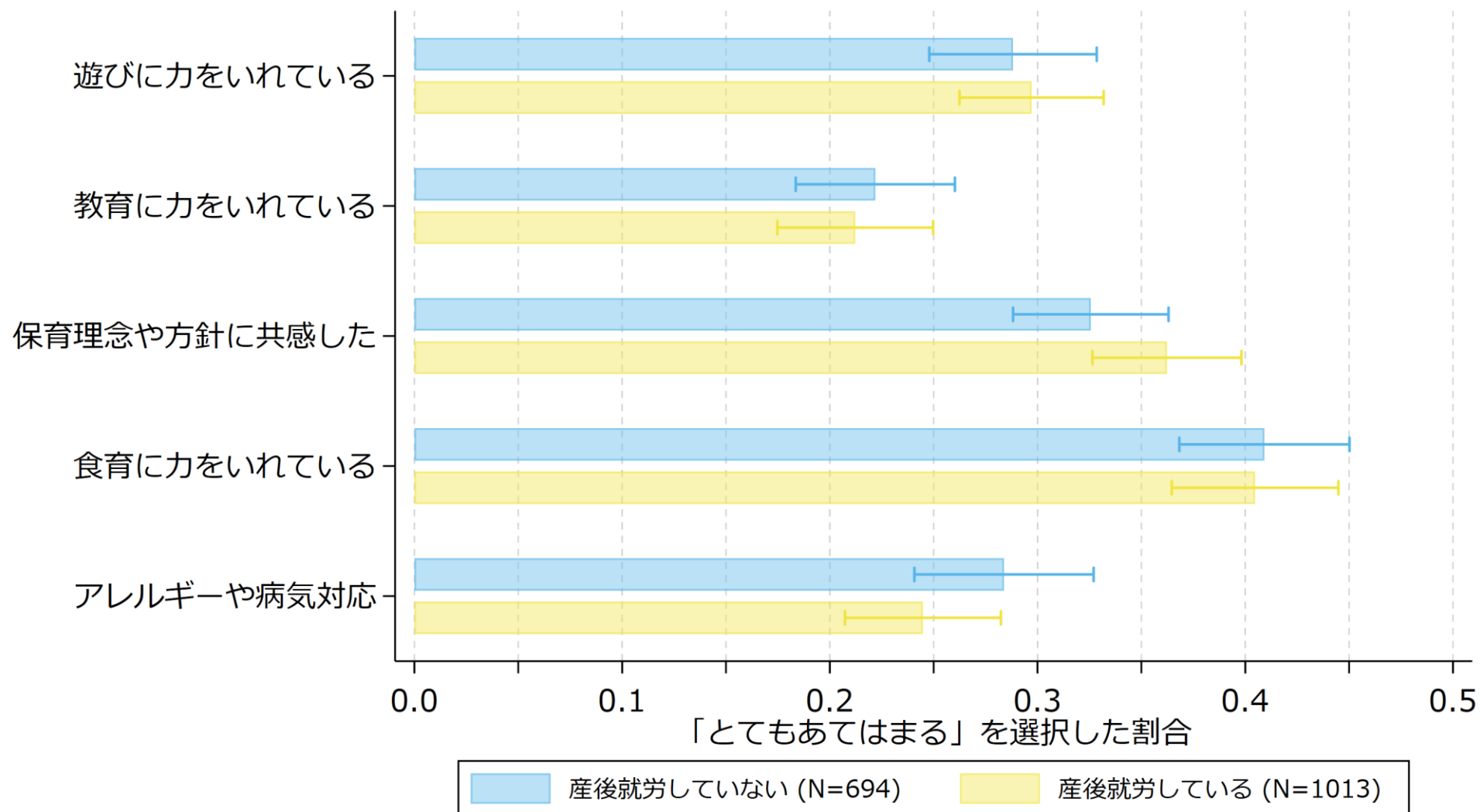
※因子負荷量が0.3に満たない「自宅から通いやすい」「保護者負担が少ない」の二項目は除外。

企業主導型保育施設への全体的な評価

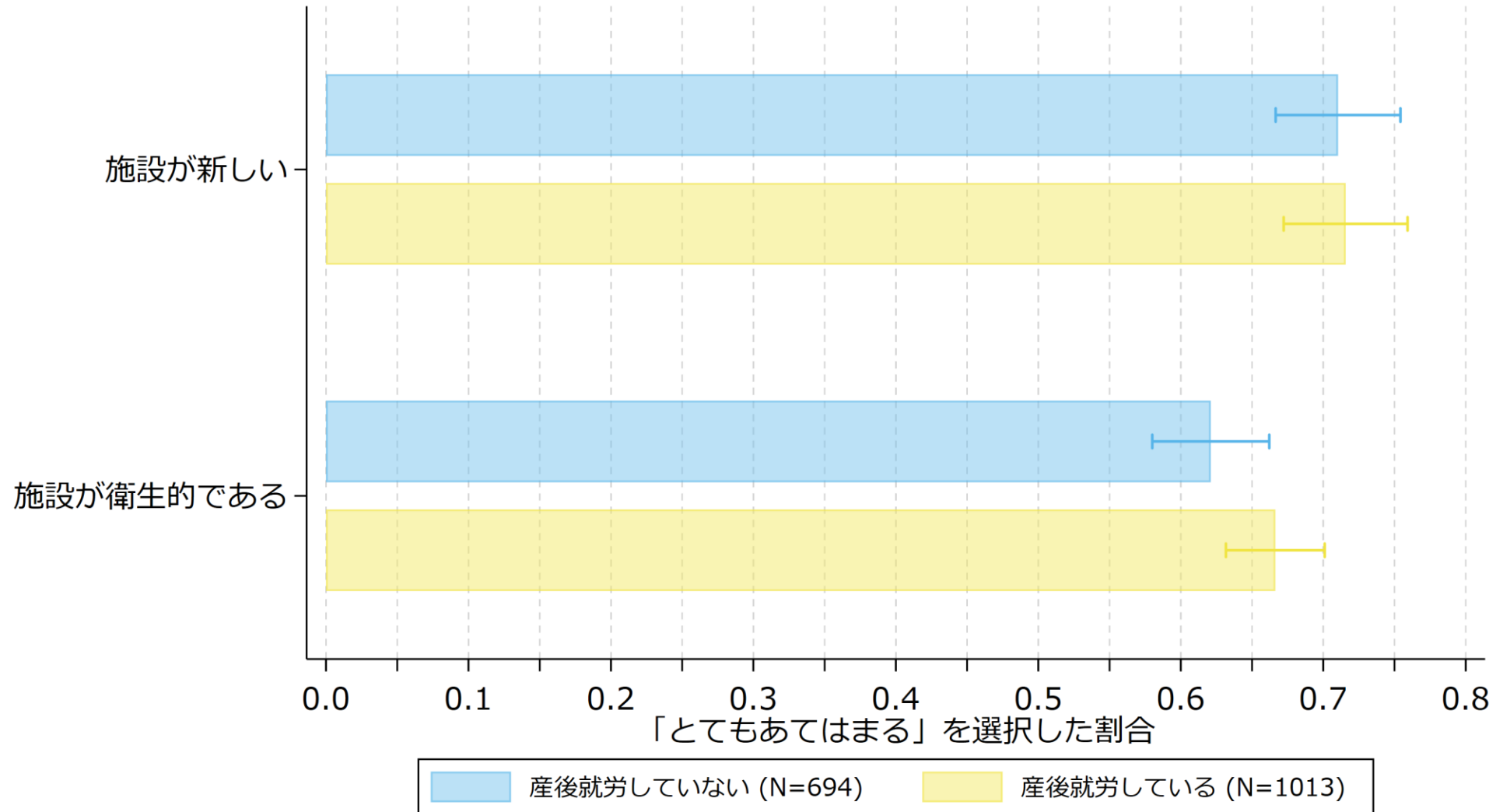


産後就労していない（出産前から就労していない＆出産により退職した）保護者にとって、企業主導型保育施設を利用するメリットはどこにあるのか？

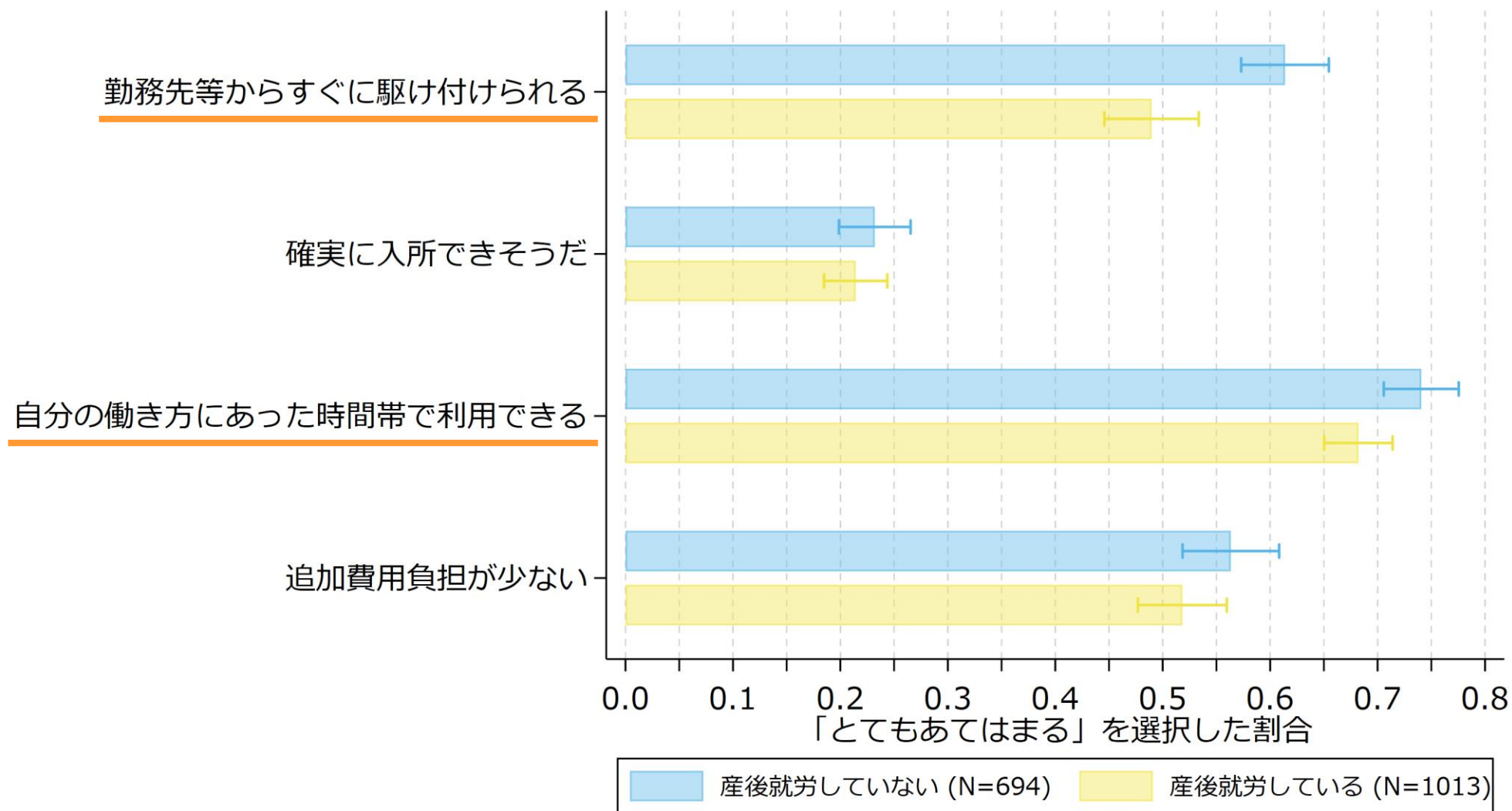
保護者の産後の就労状況と保育内容への評価



保護者の産後の就労状況と施設の綺麗さへの評価



保護者の産後の就労状況と利便性への評価



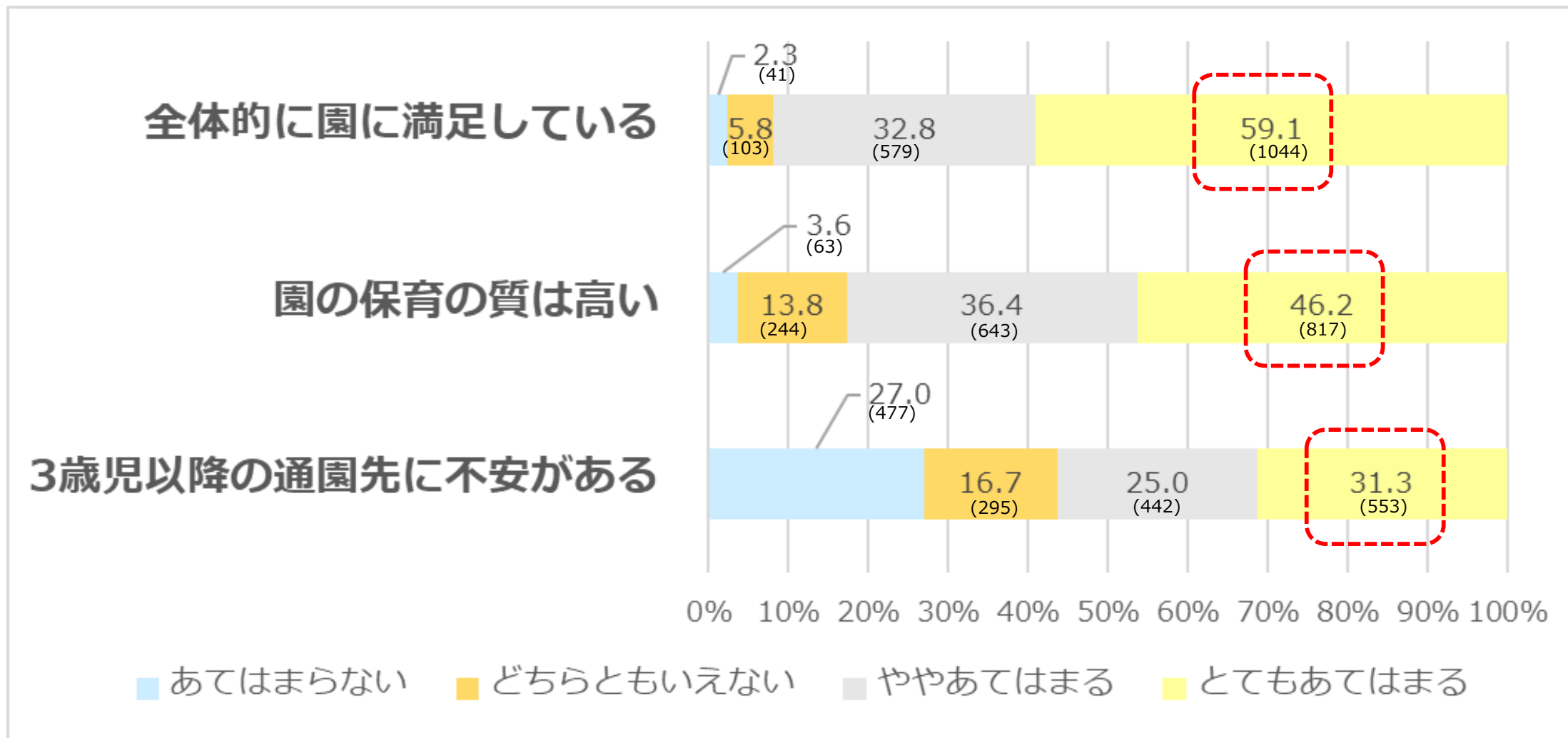
保護者は、企業主導型保育施設についてどのように評価しているか

- 利用者は、自分の働き方にあった時間帯で利用できる点、施設の新しさや衛生面について、利用施設を評価している。
- 出産前後に就労していない保護者（出産により退職した保護者を含む）は就労を継続している保護者と比べて、自分の働き方にあった時間帯で利用できる、職場から駆け付けられるといった利便性を評価している。

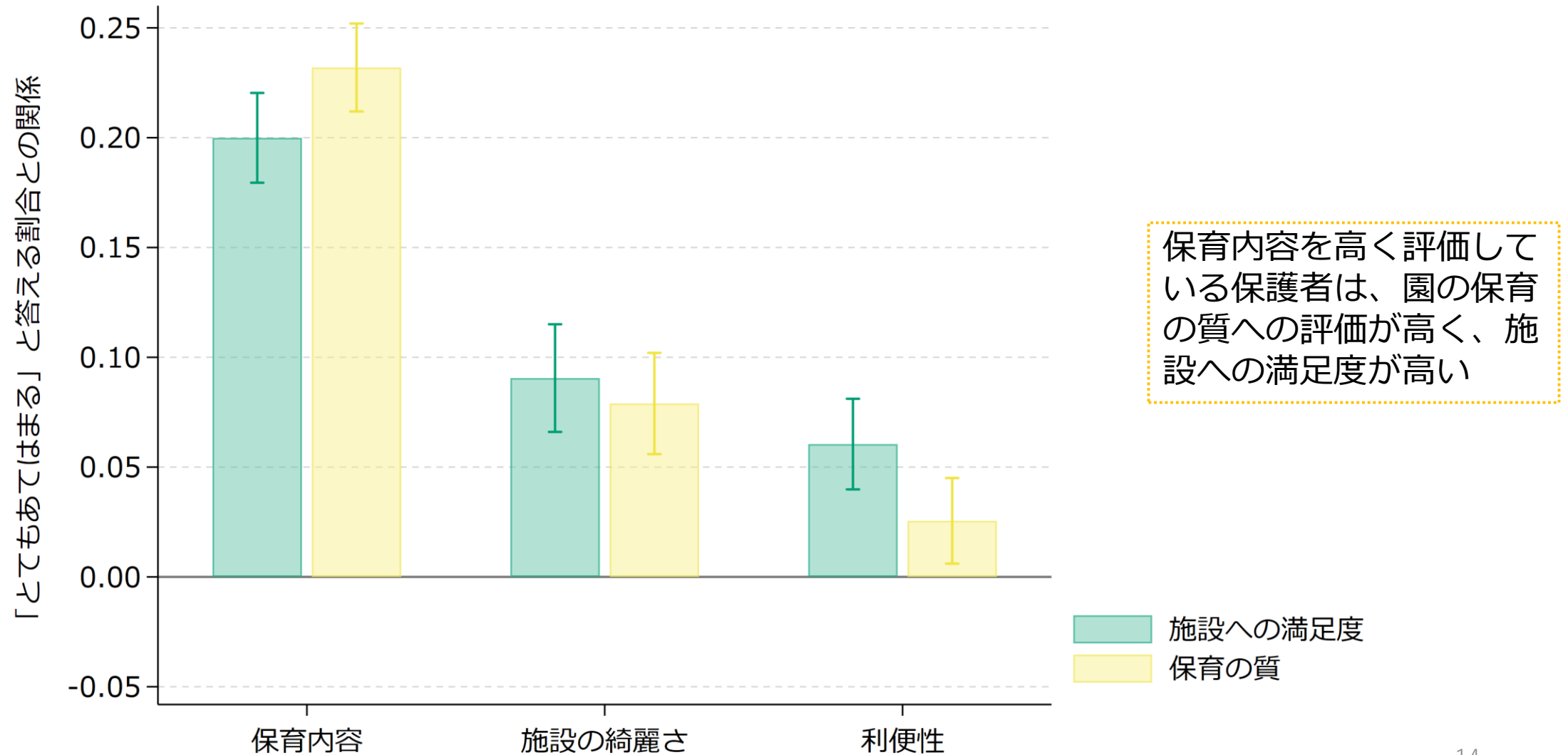
保護者が満足している施設では、どのような取り組みを行っているか



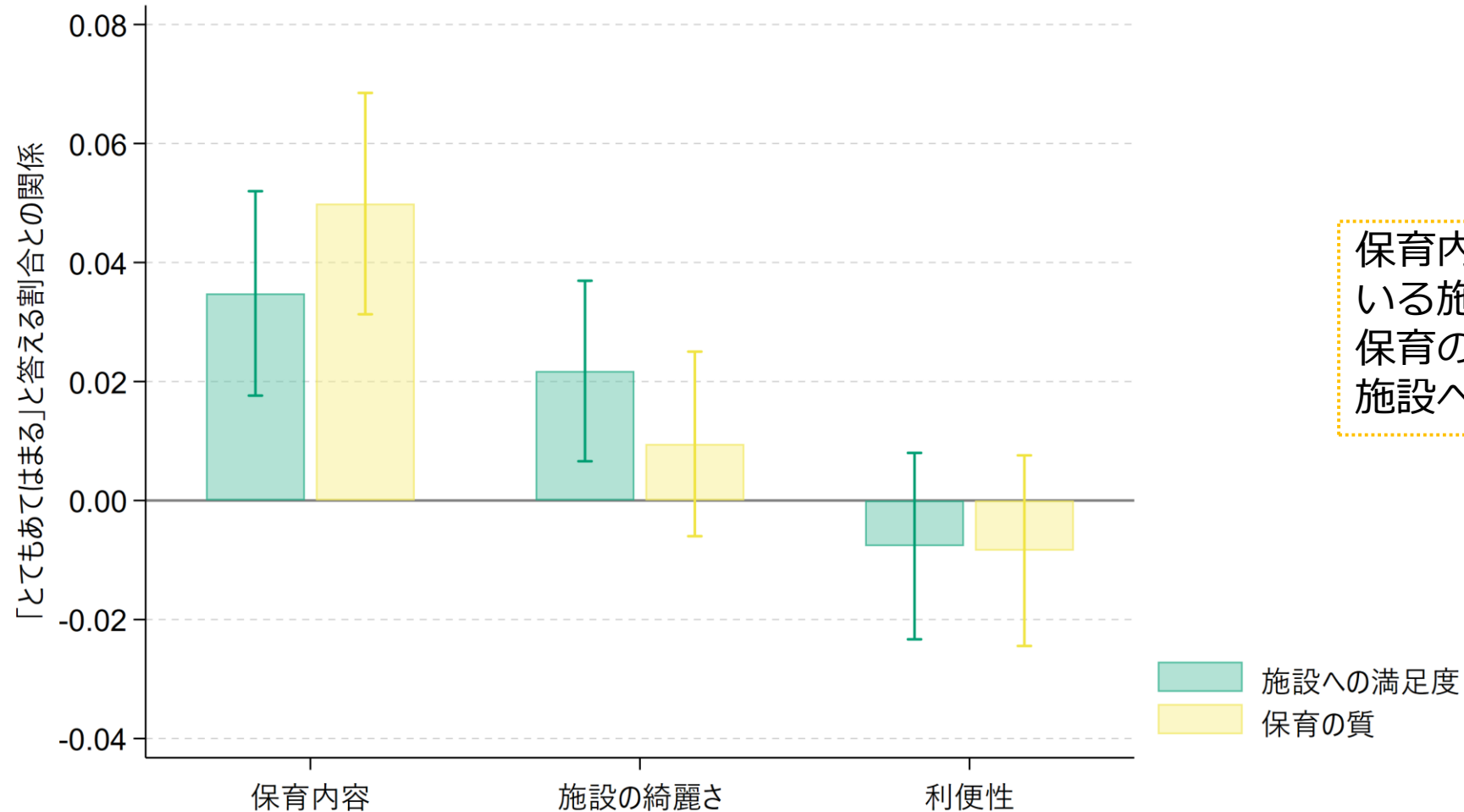
企業主導型保育への満足度



保護者の園の保育内容への評価と満足度

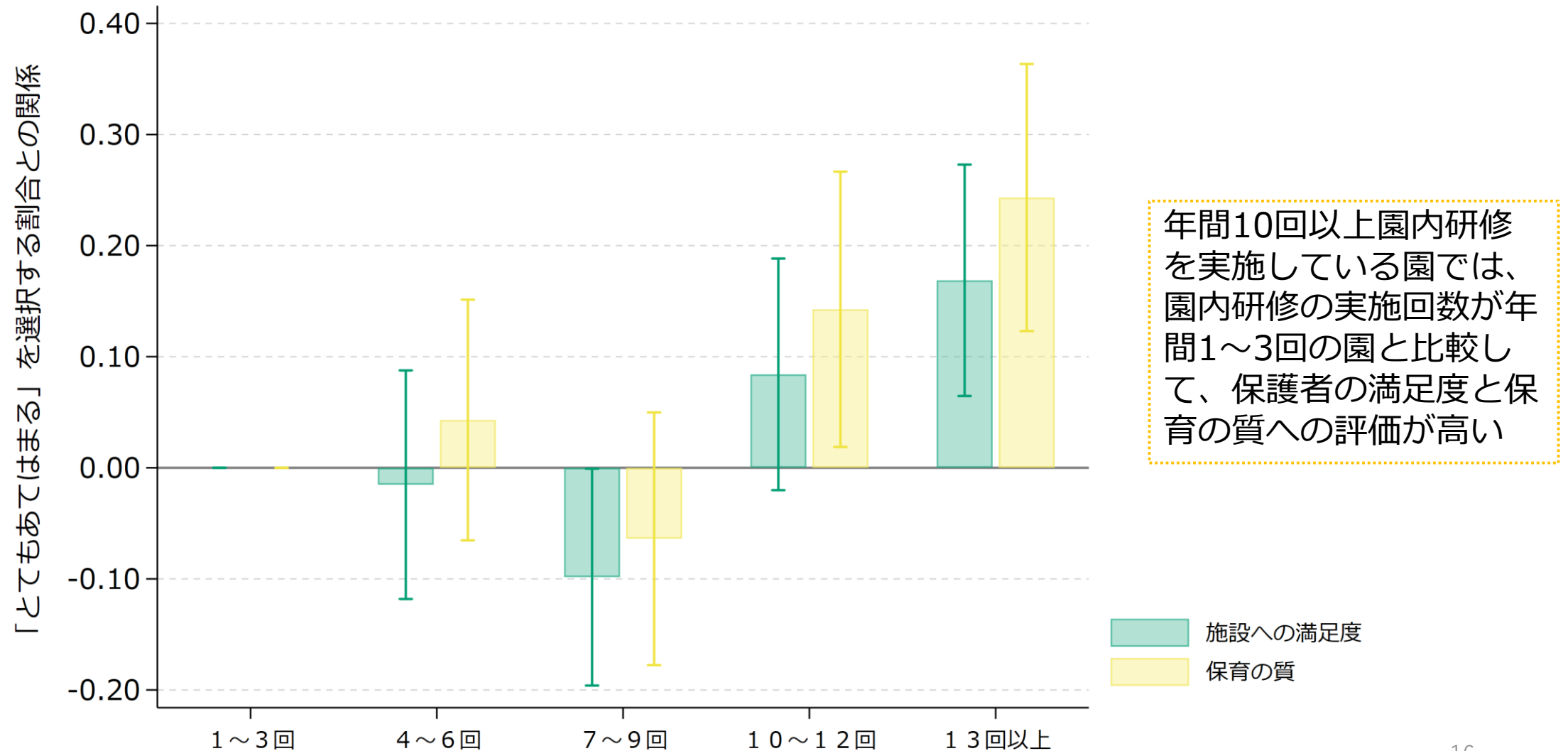


保護者の園の保育内容への評価と満足度

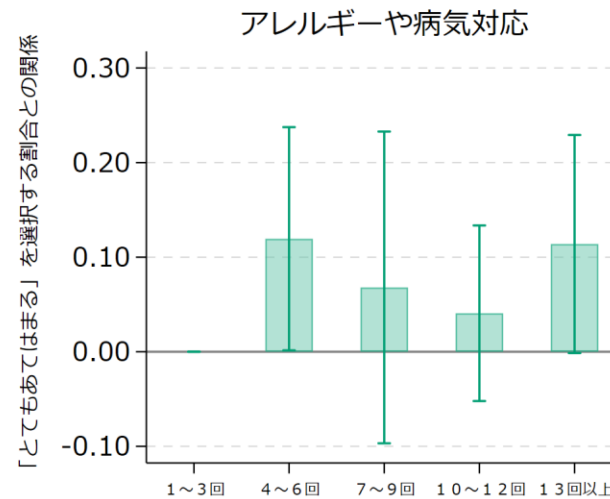
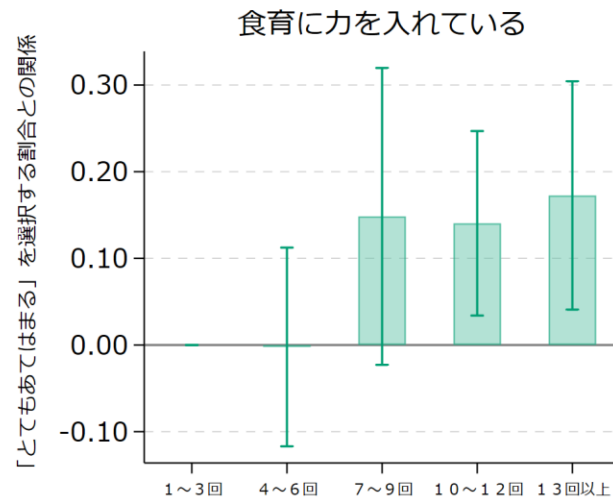
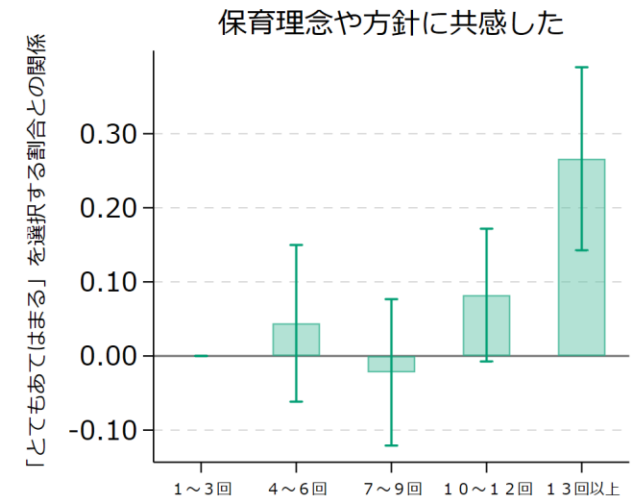
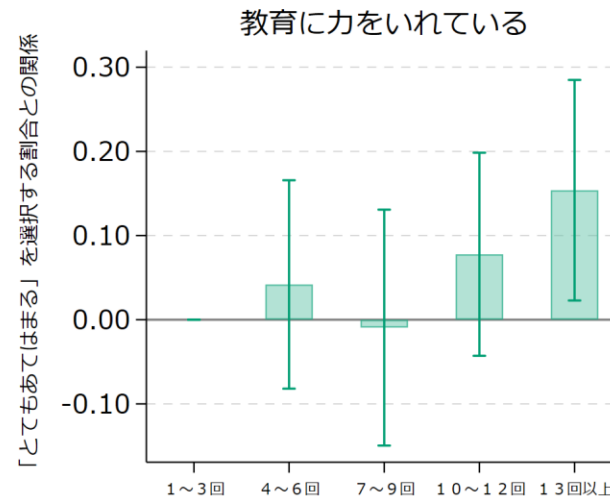
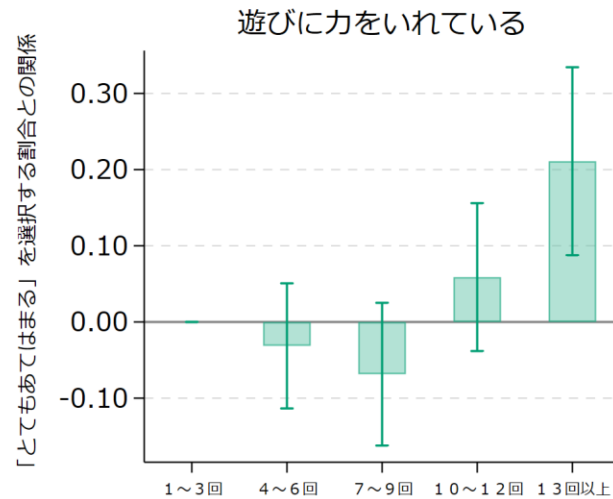


保育内容が高く評価されている施設の保護者は、園の保育の質への評価が高く、施設への満足度が高い

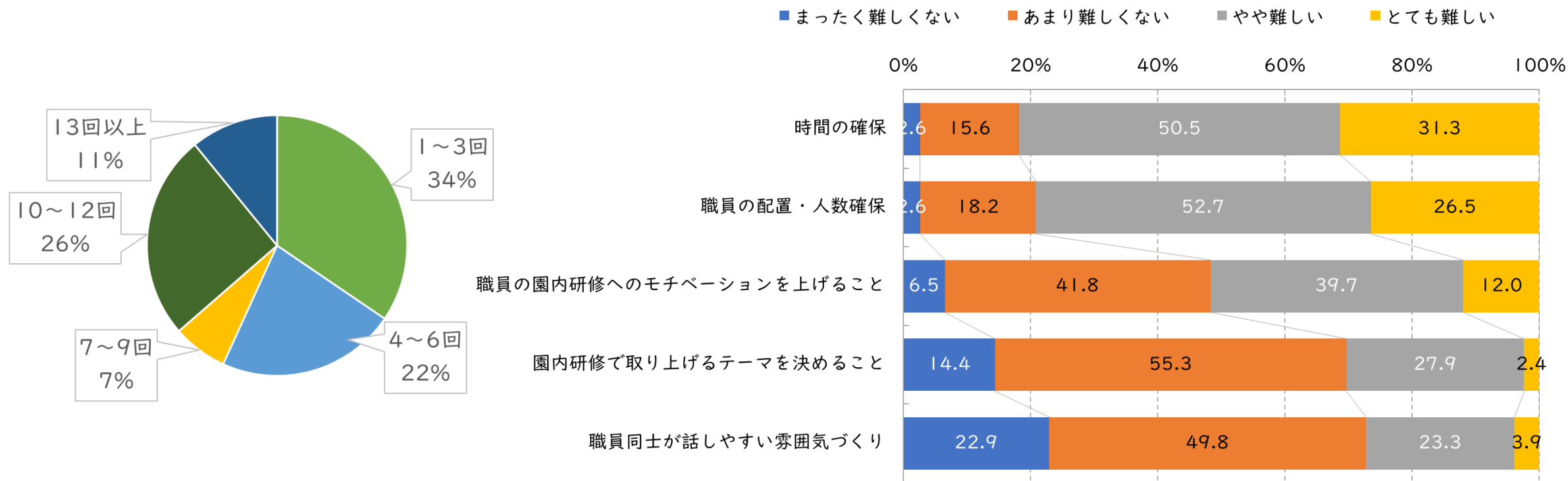
園内研修実施回数と保護者の満足度



園内研修実施回数と保護者の保育内容への評価



園内研修実施における課題（再掲）



- ・年間10回以上園内研修を行っている企業主導型保育施設は全体の37%
- ・時間や職員の配置・人数確保が課題



企業として園内研修が実施可能な体制を構築していく必要性

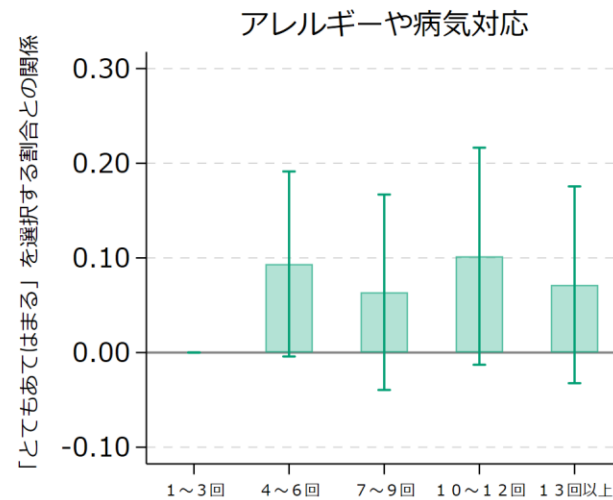
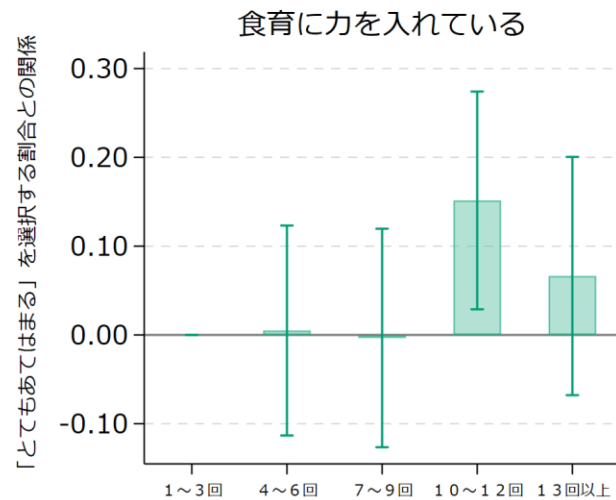
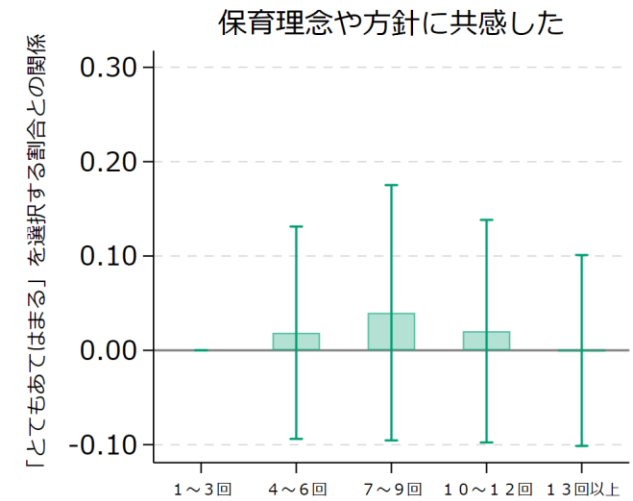
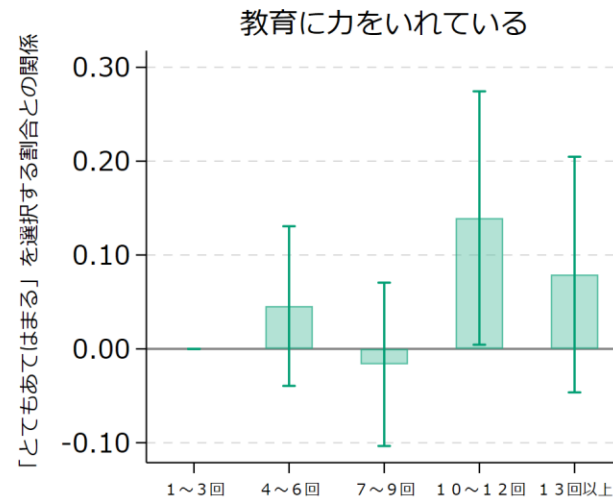
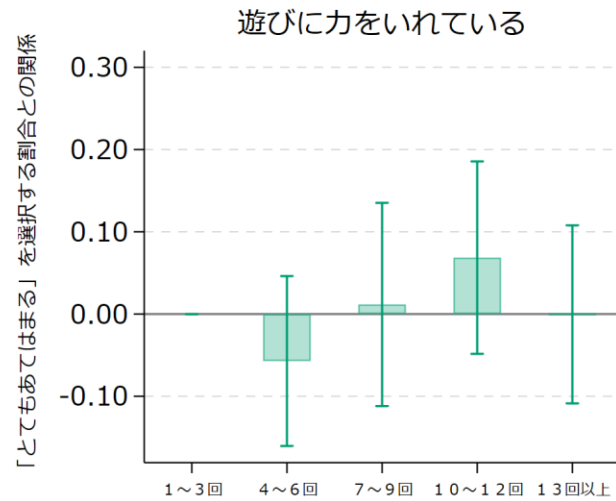
園外研修参加回数と保護者の満足度



職員の年間の園外研修への合計参加回数が7回以上の園は、園外研修への参加回数が年間1~3回の園と比較して、保護者の満足度と保育の質への評価が高い

施設への満足度
保育の質

園外研修参加回数と保護者の保育内容への評価



園外研修参加における課題

企業主導型保育施設は研修対象外

- ・認可保育所のみ参加できる研修がある。今後は認可外にも参加の機会を与えて頂きたい（50代女性）
- ・企業主導型の保育園は認可外なので県の保育士会に入れてもらえず、保育士会主催の研修もほとんど声もかからずです！（50代女性）

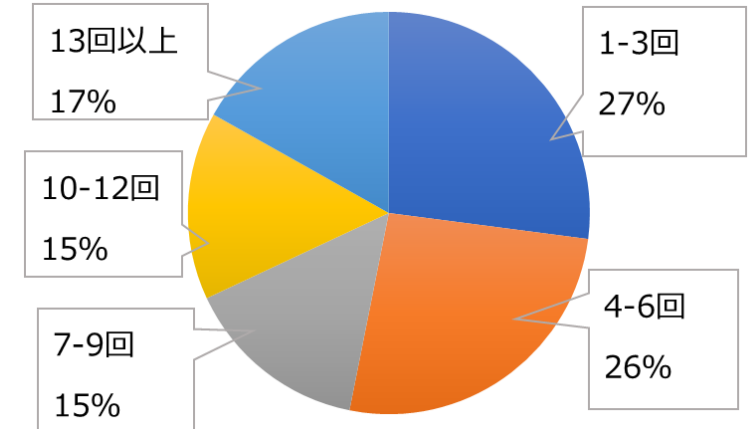
開催場所の課題

- ・企業主導型研修が県外が多い（30代女性）
- ・市町村レベルで開催してほしい。（60代男性）
- ・身近な地域での開催が少なく、遠方だと参加したくてもできない（20代女性）

費用面の課題

- ・有料の研修に参加しづらい（会社からの許可がおりない）（50代女性）
- ・研修にかかる費用の補助などがない（50代女性）
- ・受講したいが研修費が自費負担で有休の利用になるので消極的になる（40代女性）

園外研修実施回数



- ・自治体に関わり複数の施設類型を対象とした合同研修などに入れていく仕組みづくり
- ・研修費の補助や代替要員派遣など、企業としての保育の質向上への体制づくり

保護者が満足している施設では、どのような取り組みを行っているか

- 全体的に園に満足している保護者は「とてもあてはまる」が約 6 割。
- 保育の質が高いと思っている保護者は「とてもあてはまる」が5割弱。
- 3歳児以降の通園先に不安がある保護者は「とてもあてはまる」が約 3 割。
- 保育内容を高く評価している保護者や、保育内容が高く評価されている施設の保護者は、園の保育の質への評価が高く、施設への満足度が高い。

保護者が満足している施設では、どのような取り組みを行っているか

- 年間10回以上園内研修を実施している園では、園内研修の実施回数が年間1～3回の園と比較して、保護者の満足度と保育の質への評価が高い。
（現状としては年間10回以上園内研修を行っている園は4割弱）
 - 職員の年間の園外研修への合計参加回数が7回以上の園は、園外研修への参加回数が年間1～3回の園と比較して、保護者の満足度と保育の質への評価が高い。（現状としては職員の年間の園外研修への合計参加回数が6回以下が5割強）
- 園内研修・園外研修に参加しやすい仕組みづくりが課題。

結論

企業主導型保育施設を利用している保護者は、利便性や施設の綺麗さを評価しており、それらと比べると保育内容の評価は相対的に低い。保護者の園の保育の質への評価や施設への満足度を向上させるためには、保育内容への評価を高めていく必要がある。

